

バナナについて

食欲が出ない時の栄養食。今回はフルーツの王様とも称されるバナナについて、統計から見える世界をお届けします。

歴史を遡ること今から60年程前。昭和38年（1963年）以前までは、バナナは高級品で、なかなか手に入らないものでした。しかし、その年にバナナの輸入が自由化され、徐々に我々の生活に溶け込んでいきました。昭和50年代に入ると、バナナは小学校の給食で出されるほど日常的な果物となりました。

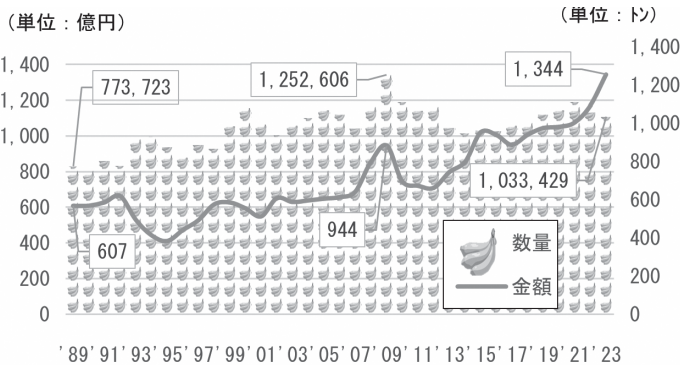
平成元年（1989年）から令和5年（2023年）までの貿易統計を見ると、平成元年の輸入数量は77万3723トンで、金額は607億円でした。

その後、一時的な減少を経て、令和5年には輸入数量が103万3429トンに増加し、金額は1344億円となりました。

近年では、輸入数量、金額ともに上昇傾向にあり、特に平成21年（2009年）には、「朝食バナナダイエット」の流行で、輸入数量は125万2606トンで過去最高を記録しました。（図）

この増加要因として、フィリピンなどの東南アジアからの安定した供給が挙げられます。

図 日本におけるバナナの輸入数量と金額



資料：貿易統計（財務省）

表 1世帯当たり年間のバナナの支出金額（二人以上の世帯）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1位	京都市 6,372 円	広島市 6,538 円	京都市 6,376 円	堺市 6,690 円	鳥取市 6,946 円	神戸市 7,958 円
2位	富山市 6,227 円	鳥取市 6,510 円	長崎市 6,276 円	津市 6,578 円	浜松市 6,808 円	富山市 7,300 円
3位	広島市 5,672 円	神戸市 6,375 円	神戸市 6,037 円	大津市 6,578 円	堺市 6,636 円	京都市 7,291 円
4位	前橋市 5,634 円	京都市 5,983 円	徳島市 5,980 円	名古屋市 6,296 円	秋田市 6,597 円	大津市 7,177 円
5位	堺市 5,631 円	徳島市 5,950 円	広島市 5,898 円	和歌山市 6,226 円	津市 6,586 円	和歌山市 7,117 円
6位	松江市 5,622 円	那覇市 5,921 円	大阪市 5,760 円	京都市 6,039 円	京都市 6,570 円	岐阜市 7,064 円
7位	徳島市 5,604 円	奈良市 5,900 円	高松市 5,751 円	神戸市 5,942 円	千葉市 6,439 円	広島市 6,892 円
8位	鳥取市 5,456 円	札幌市 5,858 円	大津市 5,727 円	岡山市 5,933 円	高松市 6,428 円	奈良市 6,878 円
9位	名古屋市 5,451 円	盛岡市 5,791 円	相模原市 5,726 円	前橋市 5,876 円	金沢市 6,412 円	那覇市 6,870 円
10位	岐阜市 5,428 円	福井市 5,750 円	松山市 5,704 円	相模原市 5,841 円	松江市 6,399 円	静岡市 6,860 円

※2022年（津市・大津市）は同一金額

資料：家計調査（総務省統計局）

次に、年間で世帯がどのくらいバナナを購入しているかを見てみましょう。

家計調査の結果を見てみると、平成31年・令和元年（2019年）から令和6年（2024年）までの6年間で京都市はバナナの年間支出金額において常にトップ10位以内に位置しています。特に平成31年・令和元年（2019年）と令和3年（2021年）には、全国で最も多くバナナを消費した都市となり、全国の県庁所在地市と政令市（52都市）の中で1位となりました。（表）

この結果から、京都市民はバナナを多く購入しており、その需要が常に高いことが読み取れます。

バナナは皮をむいてそのまま食べられる手軽さが魅力ですが、ジュースにしても美味しく、他にも様々な楽しみ方があります。また、栄養面ではカリウムが豊富で、高血圧や脳血管疾患に関与するナトリウムの排泄を促します。皆さんもぜひ、味わってみてください。